

平成 30 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「アザタン村太陽光発電システム設置計画」署名式の実施

平成 30 年 7 月 31 日(火)、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「アザタン村太陽光発電システム設置計画」の贈与契約の署名式典が、アルメニア北西部シラク州アザタン村において開催されました。本式典には、山田在アルメニア大使の他、被供与団体である「ユーラシア」CPO のトロシヤン代表、シラク州政府のメルクジャニャン副州知事およびホヴセピャン副州知事、イキリキャン・アザタン村村長、その他大勢の住民が出席しました。

本計画は、アザタン村に太陽光発電所(70kW)を建設し、村の公共施設で公共サービスを受ける住民に安定した電力を提供すると同時に、公共施設で節約された電気代を施設の維持管理やより良い公共サービスの提供に充てることで、地域の発展に貢献することを目的とするものです。太陽光発電システムの設置により、村の公共施設の利用者 1,100 人以上が直接的に裨益する予定です。

※参考情報：アルメニア政府はエネルギー自給率向上のため、2014 年-2025 年開発戦略等において、再生可能エネルギーの普及を重要政策の一つに位置付けており、とりわけ太陽光発電の潜在能力は高いとされ、エネルギーインフラ・天然資源省の統計では、年間の一平方キロメートルあたりの日射量は 1,720 kWh と、欧州全域の年間平均日射量 1,000 kWh を大きく上回ります。太陽光発電に適した気候に恵まれたアルメニアの中でも、とりわけアザタン村が位置するシラク州は年間日照数が 320 日を超え、今後太陽光発電の開発が進むと期待されています。

案件名： アザタン村太陽光発電システム設置計画 (於アザタン村)
被供与団体： 「ユーラシア」CPO (“Eurasia” CPO)
贈与金額： 68,218 米ドル (7,192,416 円)
贈与契約締結日： 2018 年 7 月 31 日(火)



地元教会の主教による出迎え



児童による工芸品贈呈



両国国旗



山田大使による祝辞



トロシヤン代表の挨拶



ホヴセピヤン副州知事のスピーチ



イキリキャン村長のスピーチ



アザタン村による記念品贈呈



贈与契約への署名の様子



握手を交わす山田大使とトロシヤン代表



児童による伝統舞踊



日本空手松涛連盟(JKS)所属の児童による披露



ケーキカット



太陽光発電所建設予定地の視察



現場を案内する村長と副村長